高等学校 令和6年度（3学年用） 教科情報

科目 情報Ⅱ

教科： 情報

科目： 情報Ⅱ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 選択科目

使用教科書：（ 情報Ⅱ 東京書籍 ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】 多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養う。

科目 情報Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当 時数	
1 学期	・情報社会の進展と情報技術について学ぶ。	情報社会の進展と情報技術 ・教材 教科書、副教材、問題集 ・一人1 台端末の活用	・情報技術の発展の歴史を踏まえ、情報社会の進展について理解している。[知] ・人の知的活動が変化する社会における情報システムの意義について考察することができる。[思] ・本単元に関して粘り強く考えていくことができる。[態]	○	○	○	5	
	・メディアの特性について学ぶ。	メディアの特性 問題解決の流れ ・教材 教科書、副教材、問題集 ・一人1 台端末の活用	・多様なコミュニケーションの形態とメディアの特性との関係について理解している。[知] ・目的や状況に応じて、コミュニケーションの形態を考え、適切なメディアを選択し、組合せを考えることができる。[思] ・メディアに関して粘り強く考えていくことができる。[態]	○	○	○	8	
	・コンテンツの制作について学ぶ。	コンテンツの制作 ・教材 教科書、副教材、問題集 ・一人1 台端末の活用	・文字、音声、静止画、動画などを組み合わせたコンテンツを制作する技能を身に付けている。[知] ・情報デザインに配慮してコンテンツを制作し、評価し改善できる。[思] ・粘り強く、分かりやすい作品を作ろうとすることができる。[態]	○	○	○	8	
	・人間の知的活動への影響について学ぶ。	人間の知的活動への影響 ・教材 教科書、副教材、問題集 ・一人1 台端末の活用	・情報技術の発展による人の知的活動への影響について理解している。[知] ・人の知的活動が変化する社会における情報システムの意義について考察できる。[思] ・人の知的活動に関して粘り強く考えていくことができる。[態]	○	○	○	7	
2 学期	・データの活用について学ぶ。	データの活用 ・教材 教科書、副教材、問題集 ・一人1 台端末の活用	・データ活用の有用性、データサイエンスが社会に果たす役割について理解している。[知] ・将来の現象を予測したり、複数の現象間の関連を明らかにしたりするために、適切なモデル化や処理、解釈・表現を行うことができる。[思] ・データサイエンスに関して粘り強く考えることができる。[態]	○	○	○	8	
	・データの収集と整理について学ぶ。	データの収集と整理 ・教材 教科書、副教材、問題集 ・一人1 台端末の活用	・目的に応じた適切なデータの収集や整理、整形について理解している。[知] ・目的に応じて、適切なデータを収集し、整理し、整形することができる。[思] ・粘り強く、データ整理などができる。[態]	○	○	○	8	
	・データの分析と分類について学ぶ。	データの分析と分類 ・教材 教科書、副教材、問題集 ・一人1 台端末の活用	・データの処理を行い解釈・表現する方法について理解し技能を身に付けている。[知] ・モデルやデータ処理の結果を評価し、モデル化や処理、解釈・表現の方法を改善することができる。[思] ・データ分析など粘り強く判断していくことができる。[態]	○	○	○	8	
3 学期	・生活に欠かせない情報システムについて学ぶ。	情報システム ・教材 教科書、副教材、問題集 ・一人1 台端末の活用	・情報システムにおける、情報の流れや処理の仕組み、情報セキュリティを確保する方法や技術について理解している。[知] ・情報システムについて、その在り方や社会に果たす役割と及ぼす影響について考察することができる。[思] ・情報システムについて粘り強く考えることができる。[態]	○	○	○	8	
	・情報システムの設計について学ぶ。	情報システムの設計 ・教材 教科書、副教材、問題集 ・一人1 台端末の活用	・情報システムの設計を表記する方法、設計、実装、テスト、運用等のソフトウェア開発のプロセスとプロジェクト・マネジメントについて理解している。[知] ・情報システムをいくつかの機能単位に分割して制作し統合するなど、開発の効率や運用の利便性などに配慮して設計すること [思] ・情報システムの設計など粘り強く考えることができる。[態]	○	○	○	3	
							合計	63